

1 テーマ
「九兵衛地蔵」(飯山騒動または浅野騒動と呼ばれている)江戸時代
【北畑(信号)交差点の東側にあります】

2 扱える学年

- 小3 地域に残る古いもの調べ(飯山小, 秋津小) 「お地蔵さん」
- 小6 江戸時代の村の暮らし
- 中学 江戸時代の「一揆・打ち壊し」

3 教材としての価値

- (1) 天保のききんとの関係で扱うことができる
教科書や資料集に載っている「天保のききん」を学んだ後に、飯山でも同じようにききんで財政が厳しくなり、「一揆・打ちこわし」が起きたことを学ぶことができる。
- (2) 当時の武士と農民との関係を実際のできごとから考えることができる。
ききんの状況下で、藩から年貢を厳しく取り立てられた農民の苦しみ
財政困難に陥っていた飯山藩
藩に金を貸す豪農(浅野村 西原九兵衛)の存在、藩の仕組みに取り入れられた豪農
しかし、無実の罪で処刑された九兵衛
- (3) 実際に見学し、碑文を読むことで学習意欲を喚起することができる。
今でも花やお供え物を供えている事実がある
冬には藁で編んだみのを被せてもらっている

4 調査結果

(1) 文献調査

北畑交差点近くに、天保11(1840)年3月建立という和服正座姿のりっぱな地蔵様が建っています。村人はこの地蔵様を「沖の地蔵さん」または「九兵衛地蔵」とも呼んでいます。この地蔵様の由来については、冬になると雪の原になるので道しるべのために建立したという説と、浅野村の豪商飯山藩御用金調達 西原九兵衛が、飯山藩のでっち上げにより、百姓一揆の首謀者に仕立てられて処刑されたのを痛み徳をしのぶ人たちが建立したという説とがあります。今では交通安全地蔵とも呼ばれています。

『飯山風土記』 飯山市振興公社

(2) 現地調査



碑文の内容：九兵衛地蔵 信州飯山騒動にかかわり獄門にされた西原九兵衛の徳望をしのぶ人々により天保十一年春三月建立される 信州善光寺大勸進 大僧正



夏は日よけと帽子、冬は藁で寒さよけをしてくれている

(3) 学習資料（提示資料や学習カードに利用してください）

①飯山騒動の概要

「飯山騒動」は「浅野騒動」ともいわれます。西原九兵衛（にしはら くへい）は、浅野（現在は長野市豊野）の人なのでそういわれているのでしょう。

当時は浅野村は飯山藩領でその庄屋西原九兵衛は、飯山藩御用達^{ごようたし}として、名字をつけたり刀を持ったりすることを許されていました。また、飯山藩に多額のお金を貸していました。

飯山藩では、藩主の本多助賢^{すけとし}が幕府の若年寄という重職にあったこともあり、お金がたくさん必要でした。そのため領民から重い年貢を取り、人々を苦しめる政策をしていました。天保のころには、財政困難になり、さらに追い打ちをかけるように「天保のききん」も起きました。

天保8年（1837）12月 騒動勃発

三水村^{さみず}、赤塩の八幡原に集まった一揆は、道々、仲間を集めて静間村の伍位野で隊を整え、まず静間村の役人の家を襲い、氣勢をあげて飯山城下に押し寄せた。その勢い怒濤のごとく、かがり火をたき、喚声をあげてものすごかったと伝えられている。

飯山藩の役人達は、手の下しようもなく、呆然とするばかりであった。やがて、町内の寺院に遣いを走らせ、百姓の願いを伝えさせることにした。

藩の命を受けた住職達は、馬に乗り、一揆の前に進み出て、口々に「おまえ達の願いのすじは、聞き届けるぞ」と伝えた。それでは、と一揆も落ち着いて、参加者は村に帰った。しかし、翌日から（まるで、その約束がなかったかのように）検察の手が各村へ入った。

②飯山藩のやったこと

この騒動をたくらみ、一揆を指揮したのは西原九兵衛だ、と決めつけ、九兵衛をとらえた。しかし、この騒動の真っ先に人々から「打ちこわし」をされたのは、九兵衛だった。

逮捕と同時に、「九兵衛が飯山藩に用立てていた1000両余にのぼる貸金の証文7本」を九兵衛から取り上げた。

逮捕後、拷問による吟味を重ね、九兵衛に「私、頭取致し候」と言わせた。騒動の首謀者としてしまう。

九兵衛への言い渡し（判決）は、「騒動を企て、落とし文を作成して配らせ、藩から特別な恩寵をこおむりながら、私欲によって村々を騒がせた罪によって獄門にする」であった。

③まとめ

騒動に直接かかわることがなかった九兵衛でしたが、天保9年（1838）8月にとらえられ、天保10年（1839）、打ち首にされました。

「九兵衛地蔵」は、天保11年（1840）春に、建てられました。江戸時代の身分制度のありかた、武士による支配階級により事実が曲げられてしまったことなどについて考えてみてください。このような事実を知った上で、「九兵衛地蔵」を見てください。飯山藩の処刑場近く「北畑（信号）」交差点から東に入ってすぐ左手にある九兵衛地蔵は、飯山城に背を向けて建っているとも言われています。九兵衛地蔵は、何を思ってあの場所に立っているのでしょうか。

